

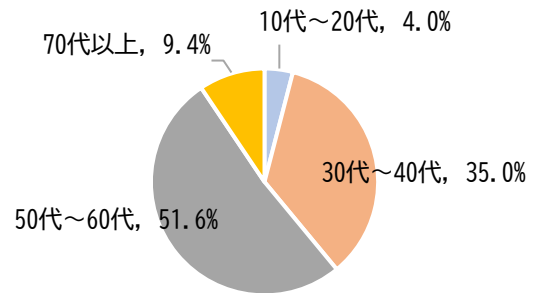
4. 「とよなかの環境～2023 年度速報版～」市民意見募集結果

○市民意見募集 結果まとめ

市ホームページやパネル展にて「とよなかの環境～2023 年度速報版～」を公表し、市民意見を募集しました。

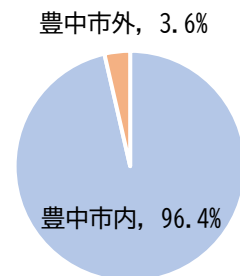
【問 1】あなたの年齢を教えてください

「50 代～60 代(51.6%)」が最も多く、次いで「30 代～40 代(35.0%)」、「70 代以上(9.4%)」、「10 代～20 代(4.0%)」でした。



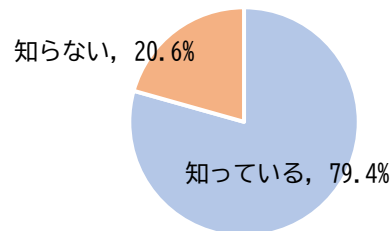
【問 2】あなたのお住まいは豊中市ですか？

「豊中市内(96.4%)」が大半を占めており、「豊中市外」は3.6%でした。



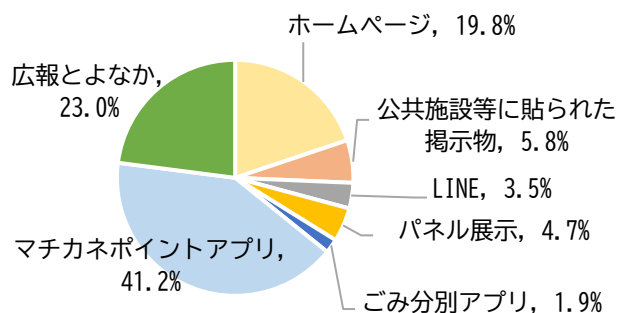
【問 3】「とよなかの環境」を知っていますか？

「知っている」と答えた人の割合は 79.4%、「知らない」と答えた人の割合は 20.6%でした。



【問 4】問3で「知っている」を選んだ方に聞きます。「とよなかの環境」をどこで知りましたか？

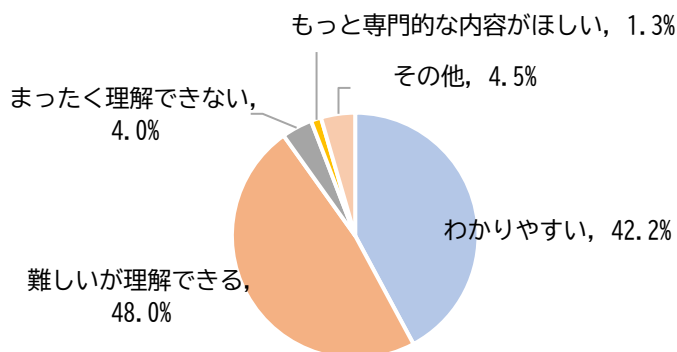
とよなかの環境を知る要因として最も割合が高いのは「マチカネポイントアプリ(41.2%)」、次いで「広報とよなか(23.0%)」、「ホームページ(19.8%)」、「公共施設等に貼られた掲示物(5.8%)」、「パネル展示(4.7%)」、「LINE(3.5%)」、「ごみ分別アプリ(1.9%)」の順でした。マチカネポイントアプリからとよなかの環境を知った人が多い結果となりました。



※四捨五入の関係で合計が 100% になりません。

【問5】速報版の内容はわかりやすいですか

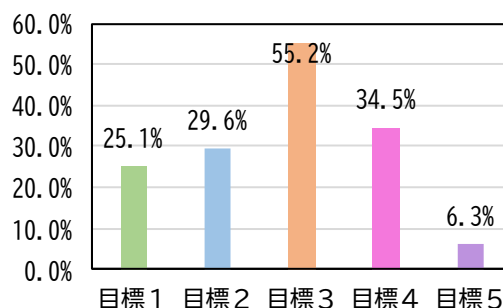
「難しいが理解できる(48.0%)」が最も多く、次いで「わかりやすい(42.2%)」、「まったく理解できない(4.0%)」、「もっと専門的な内容がほしい(1.3%)」の順でした。大多数の人が読んで理解できると回答しています。



その他(10件)	
まったく理解できないとまでは言わないが、多く疑問点が残る。	
わからない	
今後の具体的にどうするのか、対応がわかるとよい	
情報量が多く、まとめか、概要がほしい	
速報版がなんのことかわからない	
分かりにくく感じた	
知らない	同2件
わかりにくい	同2件

【問6】どの内容に関心を持ちましたか？関心のある項目を選択してください

関心を持った割合は「目標 3(55.2%)」が最も高く、次いで「目標 4(34.5%)」、「目標 2(29.6%)」、「目標 1(25.1%)」、「目標 5(6.3%)」の順でした。目標 3 への最も関心が高く、目標 5 が最も低い結果となりました。



【問7】市の環境に関する取り組みに対して、ご意見やご提案、ご感想をお聞かせください

問 7 の環境に関して記述された意見は 245 件ありました。環境目標ごとに分類して掲載しています。

環境目標	内容	件数
目標1 (76 件)	環境政策の総合的な推進について	12 件
	環境情報の提供について	28 件
	啓発活動および環境学習等の推進について	32 件
	協働とパートナーシップに基づく施策の推進について	4 件
目標 2 (19 件)	脱炭素社会の実現に関する施策について	12 件
	再生可能エネルギー等の活用促進について	1 件
	環境に配慮した運輸部門の施策の推進について	6 件
目標 3 (79 件)	3R 行動の促進について	76 件
	廃棄物の適正処置の推進について	3 件
目標 4 (62 件)	みどりの保全や育成について	17 件
	地域の身近なみどりの創出について	13 件
	みどりを生かした安全で快適な暮らしの実現について	14 件
	生物多様性の総合的な保全と取り組みについて	7 件
	環境美化活動の促進について	11 件
目標 5 (9 件)	環境汚染防止対策の充実について	1 件
	都市・生活型公害対策の推進について	8 件
その他		25 件

環境目標① よりよい環境をめざして多様な主体のパートナーシップで取り組む

①環境政策の総合的な推進について	
・ パートナーとの取組みは良い。新しい仕組みや技術を取り入れることで進めてほしい。	・ 環境を更に良くする施策をどんどん考えて実行してほしい。
・ 「目標1」で挙げられている「課題」は、「目標2～5」と同様に達成状況をいくつかの指標で測定できるものが多いように感じた。	・ 今後も環境についての施策を推進してほしい。
・ 様々な指標から環境改善が進んでいるように思われるため、この調子を維持してほしい。	・ 目標値が掲げられているがなぜその値にしているのか、目標達成するとどうなるのかがよく理解できなかった。
・ 「目標1」の「協働の進捗状況」は、前年度からの変化を述べるべきところである。「取組み」に書くべき内容だ。	・ 他市より様々な面で遅れている印象があるので、より取組みを進めてほしい。
・ 今だけではなく未来に向けて快適な暮らしができる生活環境をめざし、取組み続けてほしい。	・ 他市町との連携も良い取組みだ。効果もわかりやすく記載されてみてはどうか。
	・ SDGs の取組み。
	・ 今のままの方針で満足だ。

②環境情報の提供について	
・ 環境への配慮は非常に大切だ。ただ一般市民としてあれこれたくさん言われると頭に入ってこないの、1ヶ月に1つずつ目標を決めて、広報とよなかのわかりやすいところに「今月の目標」などと記載していただくと頑張ろうと思う。	・ それだけの冊子みたいなものがあれば読む機会が増える考える。
・ 市民のためにいろいろな取組みをしていることがわかった。私たちも環境についてもっといろいろ知らなければと思った。これからいろいろ発信してほしい。	・ 普段目にする環境保全に関するメディアはどうしても声かけのようなものしかなく、今回のような環境報告書では具体的な成果を知ることができ、非常に有用だと考える。
・ 活動の成果をベンチマーク先(都道府県、市町村)との比較で表現してほしい。	・ LINE を通じていろいろな取組みを知らせてほしい。
・ 全体を通して、わかりにくい表記になっている。選択するデータと分析要因と整合性に何か違和感を感じる。データ量が多くなると見てもらえない、データ量が少ないとわかりづらくなるのはわかるが、どうにか工夫してほしい。	・ イベントを増やしてほしい。
・ とよなかの環境の速報版を拝見し、データの良い部分を見て評価している感じを受けた。毎年のことで事務的に作業をしているように感じる。環境事業を進めている熱情的なものを感じることができなかったのが残念だ。環境基本計画に基づき環境施策を進めていると思うが、PDCA だけではなく、OODA も同時に使い他の計画等も考慮した上で豊中環境シナリオを作成してほしい。	・ 豊中市の環境への取組みについての目標と進捗状況がわかった。
・ 国や府の事業と取組みがどうリンクしているのかわかればよい。	・ 市民に周知することが重要。
・ 市の活動を、今回アンケートで知った。広報誌などでもお知らせして広く知ってもらいたい。	・ パネル展示などもっと長い期間展示してほしい。
	・ もっと環境に関しての情報をわかりやすく積極的に発信してほしい。
	・ 個人のできることがなになのかわかりにくい。読んで理解するのが難しい。
	・ セミのぬけがら調査の結果が知りたいので、速報版ではない詳細なものも読んでみたい。
	・ 生活環境は個人でできること、企業や自治体でなくてはなし得ない事象がある。ホームページや広報などで更なる配信をしてほしい。
	・ 環境展などで花苗やとよっぴーをいただき、狭いながらもベランダでガーデニングを楽しんでいる。これからも催し開催が楽しみだ。
	・ 豊中市の様々な社会資源について各年代にあったものをアナウンスしてほしい。
	・ 活動がわかりにくいので、デジタル媒体を持ってない及び市役所や公民館等に行く機会がない市民にもわかりやすくしてほしい。

②環境情報の提供について	
・ パネル展を拝見した。 市として目標に向かっていろいろ取り組んでいることはとても伝わってきた。 ただ私達個々市民が日々の暮らしの中で何をどうすればその目標に小さな協力ができるかを“具体的かつ簡潔”に示して貰える 1 枚も最後にあればよい。	・ ロハスフェスタのようなイベントは気軽に参加できて環境についても考えられる。 イベントの開催についても、チラシを配る場所を増やしたり、ポスターをいろいろな場所に貼ってもらったりとっと宣伝したらよい。
・ とよなかの環境について、広報に載っているのかさえない。 環境のことは将来のことを考える上で一番に取り組んでいかないとけないことなので、講習とか堅苦しくなく誰にでも簡単にわかるように工夫し知らせてほしい。	・ どのデータも年間変化の数値をグラフ化されておりわかりやすかった。目標に到達しているものとそうでないものがはっきりしていることがわかった。 このような取組みが 2016 年度からまとめられてすごいと思った。
・ 市の活動を知る機会はなかなかないため(自分から広報を読み込むなどしない限り)、こういった速報版などの取組みは続けていただきたい。 目標や実績をきちんと文章にしているの、正確な記載かとは思いますが、文章が多く、少し読むのに力が要るので、イラスト等で一目でわかる情報などあればより見やすい。	・ 速報版を見ていると、個人個人でできることは限られていても、少しでも役に立てるように過ごしていかないとけないという意識が芽生えた。 パネル展が開催されていることは、このアンケート内で初めて知った。内容もとてもわかりやすかった。 ・ 広報してもらうことで、市民に環境を考える輪を広げていければよい。

③啓発活動および環境学習等の推進について	
・ スタンプラリーやイベント形式等、市民が参加できる取組みを増やしてほしい。 教育、保育機関での環境学習だけでなく、高齢者、独居世帯の啓蒙、啓発も必要。	・ 学ぶ機会とマチカネポイントの付与活用をリンクさせて、より市民参加を促してはどうか。 また広報でも速報版を添付するのはどうか。 字が小さくて年配には厳しいかもしれません。
・ 小中学校生に環境教育によって大人へと導いてほしい。	・ 一人ひとりが気をつけないと何も変わらないので、意識付けできる機会を度々設けてもらいたい。
・ 環境学習への機会を一般市民が参加しやすいように工夫してほしい。	・ ごみ処理場などの施設学習など見学型の体験型勉強会、大人の社会見学があれば嬉しい。
・ 環境学習の参加を増やしてほしい。具体的な環境内容をわかりやすく、記載してほしい。	・ 環境配慮関連のイベントを開催して環境問題を身近に考える機会があってもよい。
・ 小中高学校での学習項目に環境問題について積極的な教育を目指し大人とのコミュニケーションを目的とし市民としての自覚を形成させる。	・ 子どもが参加できる環境イベントを増やしてほしい。 ・ 環境についての学習機会や普及が必要。
・ 誰でも参加できる環境に関するイベントやボランティアがあればよい。	・ 子ども達向けの環境学習への機会を増やしてほしい。
・ 環境学習をもう少し他の学校でもやってほしい。	・ 積極性を促す取組みが必要。
・ 市の小中学校は勿論、保護者、一般の人にもこのような学習する機会を増やしてほしい。	・ 環境への関心を高められるような取組みが必要だ。
・ 学校で環境に関するイベント、授業など、体験できるものも含めて企画してほしい。	・ 小中学生が環境に関心を持つきっかけとなるイベントや校外学習をもっと実施してほしい。
・ 環境学習は本当の意味で身にならないので、ロハスフェスタのような環境を気軽に身近に感じられるイベントを市内、小中学校で実施してほしい。	・ 小学低学年から大人まで、もう少しわかりやすく学習する機会を増やしてほしい。 ・ 環境学習の機会を増やしてほしい。
・ 市民の環境についての意識を高め、暮らしやすいまちづくりにつながるよう広報活動を推進してほしい。	・ 市の取組みをよりPRしてほしい。

③啓発活動および環境学習等の推進について

・ 市の取組みについて知る機会が少ないので、小中学校も協力のもと市民にも知れ渡るようイベントの企画があればよい。 ごみの排出量を減らしたり、CO₂を減らすことはよいことだ。しかしながら、それは同時にこれまでの大量生産大量消費(使い捨て)の生活の見直しどころが大きな変更ということでもある。市民の生活レベルで環境が改善されていくことは大変良いことだが、企業活動としては大きな打撃になる。 結局は個々人の収入に関わってくる。この2つの矛盾した点に気づきつつも、次の社会をどのように作っていくのか。もう早急に一人ひとり考えいく必要がある。だから、結局はなかなか進んでこなかった現状。私たちに一番抜け落ちているもの、それは私たちは地球に住まわせてもらっているということ。洗剤ひとつをとっても、一般流通している有害なものを使わず、水質悪化しない安全なものを使っていく。市民も企業も変えるには、覚悟が要ることだ。 社会構造を変革していく時だ。そこに着手できなかったのには、大きな理由がある。この世の中の本当のことに気づいていれば簡単に解ける問題だ。	・ 環境問題に関して、さまざまな取組みを行っているのはわかるが、市役所等に行くことがなく、このような取組みを知る機会がなかなかない。 環境問題に対して、住民一人一人の意識も低いように感じる。 目標達成に向けて何か特典のようなものがあれば、少しは意識してもらえるのではないかな。 ・ 地球温暖化に伴う異常気象により全国各地で災害が発生している。 未来の子ども達のためにも、環境に優しい行動を当たり前に行うきっかけ作りが環境分野には求められると思う。例えばナッジ理論等。 豊中市は先進的な取組みができるポテンシャルがあると思う。 ・ 子ども達の校外学習などにも、役立つ仕組みがあればよいと考える。 またイベント会場などにも、パネル展示や、来場者に10ポイント付与や、ポイントラリーなど企画してほしい。ポイ活で、環境への関心を高める。 ・ 集合住宅に居住していますが、ごみ、プラ、ビン等たくさんの不用品が排出されているが、それぞれ環境への関心が薄いように感じる。広報にでもっと啓発してほしい。 ・ 環境学習の機会を増やしてほしい。
・ 建築物への対策強化が求められている。ZEB や、ZEH への義務化等により、CO₂ 排出量が削減していくと考えられるが、市民一人一人の意識向上がさらに必要。	・ 環境について楽しく学べるゲームアプリかサイト内での簡易的なゲームでもいいので、そういう楽しく学べるゲームを作してほしい。 子どもたちや難しそうと思っている大人たちも環境問題に興味を持つきっかけになると考える。

④協働とパートナーシップに基づく施策の推進について

・ 人との繋がりも環境を良くするためには必要と考える。 豊中は町内会に入っている家庭は数える程だ。災害等が起こっても近所にどなたが居られるか確認できないのではないかな。	・ アプリでのアンケート依頼はよい。 ポイント付与など特典があれば回答する意欲も高まる。
・ ゼロカーボンシティに向けて事業者との取組みが必要。	・ 市民が気軽に(簡単に)取り組める(参加できる)機会を増やしてほしい。

環境目標② 1人あたり温室効果ガス排出量（t-CO₂）を令和9年度（2027年度）までに平成2年度（1990年度）比38.3%削減し、脱炭素社会をめざす

①脱炭素社会の実現に関する施策について	
・温室効果ガスを減らす具体的な取組みを知りたい。	・省エネ製品や太陽光発電を普及させる方策をさらに進めてほしい。
・目標2の代表指標で排出係数が増加した影響を受けたとあり、エネルギー消費量が減少しているため、省エネが進んでいると記載がありますが、温室効果ガス排出量自体が、めやす線を下回っているの、『順調に削減できています』と記載されている。 - この代表指標を、温室効果ガス排出量で進捗状況を確認しているのに、エネルギー消費量で進捗を見るのであれば、本当に必要なのか。評価はBではなくCではないか。 - 指標の進捗よく状況にエネルギー消費量があるであれば、代表指標を変更してはどうか。	・温室効果ガスを減らす取組みの推進も必要だが、近年リジェネラティブ農業(環境再生型農業)により、炭素を土の中へ戻してあげるという方法が注目を浴びている。 - 市民農園や市内にある農場に、リジェネラティブ農業を広めてほしい。 ・低炭素社会、ごみ焼却量を減らし環境に良い社会になるよう、これからも対策していただきたい。 ・「目標2」の直近のデータが2023年度ではない。本来は毎年計測するが2023年度はできなかったということか。
・2027年に蛍光灯が廃止されるので、LED取り替えの補助金を充実していただきたい。また、ゼロカーボンシティに向けて、市内事業者、中小企業対象の補助金を増やしていただきたい。	・低炭素の項目に関して省エネ商品の購入支援のような取組みが結果に直結していることが可視化されていないので、そこが知りたい。
・エコ商品取得に対する補助の拡大。	・エコ家電購入の補助金はとても助かる。
・「目標2」で「排出係数」が増えたとある。これはつまり、“省エネではあるが二酸化炭素はよく出す商品”が増えたという認識でよいのか。省エネと二酸化炭素の問題はトレードオフなのか。どちらかにコミットした方がよい話なのか。	・豊中市の経済活動と温室効果ガス排出量の増減を詳しく知りたい。経済活動が活発になっていて、温室効果ガスの排出量も抑制できているのなら、良い傾向だと思う。

②再生可能エネルギー等の活用促進について
・公共建物等を建て替える際に太陽光エネルギー等の再生可能エネルギーを利用できればよいのではないか。

③環境に配慮した運輸部門の施策の推進について	
・走行距離のデータが記載されていないため、走行距離が増加しているかどうか分からないが、自動車の低燃費化への支援策はどのようにになっているのか。	・充電の問題や電気代高騰を考えると、電気自動車へすぐ買い替えず、今ある自動車を長く大切に使っている。
・自転車の駐輪場を増やしてほしい。シェアサイクルの台数や拠点が増えてほしい。	・今後、ゆるやかにニーズが高まるはずのPHEVやEV普及支援として大型マンションの充電ステーション設置費を一部負担してほしい。
・自転車やバイクの一時置き場をまちに増やしてほしい。	・自転車の交通ルール徹底。

環境目標③ 発生抑制・再使用と質の高いリサイクル（再生利用）の推進により、ごみの焼却処理量を令和 9 年度（2027 年度）まで平成 28 年度（2016 年度）比 8%削減し、循環型社会の構築をめざす

①3R 行動の促進について	
・ フードロス削減のためのフードボックスをコンビニに設置すれば必ず運送会社の出入りがあり回収しやすいのではないかと。また、豊中市下であればコンビニは数が多く立ち寄りやすい。	・ 食品ロスの表より「家庭の無駄の買い物が減った」との記載について、物価高騰で家庭が経済的に買い控えが増えた部分の影響があるのか。
・ ごみ等の現象は市民の意識というより、世の中の不景気の影響と私も思う。	・ ごみを減らす為に服のリサイクルの場やリメイクの講座などを開催したらよい。
・ 家庭で揚げ物をした後の油を回収してほしい。公民館など、歩いて持って行ける場所に設置してあると、持って行きやすい。 ペットボトルのキャップを、スーパーでも回収してほしい。回収の利益の一部は、寄付にもなるので、是非してほしい。	・ 粗大ごみ料金をもう少し、値下げしてほしい。 ・ ごみの持ち込みは規定が多くハードルが高い。 ・ 「目標3」の、ごみの減量・エコに関しては個人的に特に関心が高い部分。これからもキャンペーンや情報発信をお願いしたい。
・ リユースについて、こども服以外にも、育児グッズやおもちゃのおゆずりシステムの構築を望む。短期間しか使わないので、状態の良いものもあるのに、捨てるのがもったいない。 おゆずりぐるりの回収と配布拠点がもっと増えると嬉しい。(各幼稚園・保育園・こども園など) 市内で廃油回収も始まったが、回収拠点を増やしてほしいのと、事業系の廃油回収も進めてほしい。	・ 親世代の家財道具の処分も課題で、たくさんの使える物がごみとして出される可能性がある。もったいないが物の飽和社会では断捨離が仕方ない一面もある。他市では廃棄物削減のため、無料で市民に回収品を無料または低価格で渡す取り組みを行っている。 まだ使える良質な物が、循環していく仕組みがもっと広がればよい。
・ リサイクルできるものは無料の回収ボックスを設置してほしい。	・ ごみの分別に関して、迷う時がある。実際に相談できる窓口があればよい。
・ 生ごみ回収を市民ボランティアに参加してもらい肥料作りをして公園などで活用する。 ごみ出しを市民に教育して再利用しやすくする。	・ 環境問題に対しては豊中市民一人一人自覚して、例えばごみ出しも自覚して、分別をきっちり守ることが大切だ。
・ 目標 3 の要因分析には減少した要因に記載されているが、評価はデータのための評価になっていないか。	・ ごみ減量の取り組みは、分別やリサイクル、小学生への環境学習を通じて、効果がでており、評価できる。
・ ゼロカーボンシティを目指してるのであれば、ごみ袋等家にあるものを代用できないか。ビン・缶も個人で籠とか用意して入れて出すことができるようにしてほしい。	・ ごみの分別などきちんと貢献している人へのポイント還元システムなどを導入してほしい。高齢者にもわかりやすいように教えてほしい。 ・ 生ごみとプラスチックごみを分別なしにしてほしい。
・ ごみの分別・捨て方について周知・広報活動をさらにしてほしい。 ごみ分別を徹底することで可燃ごみは減ると思う。	・ 共同マンションでいつでも捨てられる状態のごみ置き場だと、可燃・プラスチックごみの区別がわかりにくいので、ごみ袋の色又は文字の色を変えてはどうか。
・ 給水所をよく使う。各図書館、駅にさらに導入してほしい。	・ フードドライブは、食料品の値上げが続く中では、重要な取り組みだ。
・ 市内の小中学校給食の残飯と残パンをなんとかして減らしてほしい。	・ 商品を買った時に、簡素な包装にしてごみを減らすようにする。
・ ごみの減量に対する取り組みを推進するために、小型の収集用ごみ袋を購入できる場所を増やし、販売額を下げる必要がある。	・ 以前毎年ごみ袋 100 枚の支給等あったが、それに似合ったような支給やマチカネアプリの還元等もう少し多く行ってほしい。
・ ごみの分別についてさらに分かりやすくしてほしい。	・ 食品ロス取組み。

①3R 行動の促進について	
・ 個人のごみに関して物価高による消費の減少により結果ごみが減ったような表現があるが、これから経済回復、消費の増加をめざすのと相反すると思う。	・ 子ども服のリサイクルイベントや子ども主催のフリーマーケットをもっと開催してほしい。リユースについて日頃から考えるきっかけになると思う。
・ 普段からフリマアプリや買取店に服や不用品を持ち込んでいる。リユースできる場所をもっと増やしてほしい。	・ リユース事業が進んでいて、環境に優しいし、よく利用しているので助かっている。フリーマーケットの場をもっと増やしてほしい。
・ 分別ごみも浸透して豊中市のごみ処理は他市に自慢ができると思う。 ごみ処理場にいつでも入場でき分別されたごみの処理工程が見たい。 他市のごみ処理場で行っているのが大型のタンクなどを並べて引取りできる。 自転車も修理場があり自分で修理できた物は持ち帰られる。 まさしく SDGS だ。 豊中市も場所を設けて大型タンクや自転車などを展示、いつでも誰でも無償で持って帰れる場所を作ったらどうか。	・ 日常生活において環境に優しい取組みを実行することは大切であるが、自分の行動がどう環境に優しいのかプロセスと結果まで把握できれば、もっと環境政策が推進すると感じる。 例えば、ごみを分別するけれども、分別されたごみの行方はどうなるのか。可燃ごみは燃やすとごみがなくなると勘違いしていないか。 焼却炭は埋め立て処理されていることを市民は知らない。クリーンランドに見学に行けばわかるが、もっと日常的に市民に告知すべきである。 ・ ごみを捨てるときはなるべくガイドラインに則って行っているが、実際にごみの削減につながっているのが目に見えてわかるのはやりがいにつながるので微力ながら続けていきたい。
・ フードドライブ、出すタイミングを迷うことが多い。不要だとわかった瞬間に出せばいいのだろうけど、見極めが難しく、気がついたら賞味期限の関係で出せなくなり、廃棄という残念な結果になることがある。こんな時に使ってみてはどうかという声かけもあれば助かる。	・ エコショップなど利用しているが、過剰包装を抑えるような取組み。 フードドライブの取組みから関連して、子ども食堂などと提携して、日持ちしないおかずなどのロスも減るとよい。 (残飯を回すというような意味ではない)
・ リサイクル収集設置を増やしほしい。	・ 分別したごみのその後を知りたい。
・ 家庭内のごみを減らしていきたい。	・ ごみの分別など細かいが世の中によい。
・ ごみを減らすためリサイクルの活用。	・ 使用済み乾電池の回収拠点を増やしてほしい。
・ フードロスの問題は市内のスーパーや食品製造現場、給食会社等も大きな問題であり、地域一帯にて行うことがよい。	・ フードドライブへの食品提供や、服のおゆずりぐりなど、参加できることには参加している。 ・ 家庭内でのごみの量を減らしていきたい。
・ ごみ袋が有料になってからごみを減らすように気をつけるようになった。	・ 新田小でのフードロスの取組みをいろいろな学校で進めていけたらよい。
・ もっとごみ等の回収範囲を増やしてほしい。他市のようにほとんどのものを無料で回収してほしい。	・ なるべくごみの分別に関心を持つようにしていたが、実際に成果として削減できており、より一層ごみの削減に努めていきたい。
・ フードドライブで集まった食品の価値とフードドライブに携わる人の人件費やこれを輸送するための輸送費を比較したときに、本当に意味のある取組みか検証してほしい。 市がお金を出して新しい食品を購入した方がコストを抑えられる結果になれば、これは税金の無駄使いだ。	・ 分別やごみ回収に関して頑張っていると思う。このようにアンケートをとることで、周知に役かっていると思う。 ・ ごみ収集車が保育園にきたりしているが、町内でも同じようにきてイベントがあればと思う。 ・ フードバンクの場所をもっと設けてほしい。 ・ 粗大ごみの無料。
・ 最近、広報やチラシなどでフードドライブに関する記事を見る回数が増えた。フードドライブに力を入れていることがわかる。生ごみを肥料にする取り組みも、認知する回数が増えた。	・ 空き缶などリサイクルボックスをもっと増やしてほしい。
・ ごみ分別の必要性を全ての市民が理解しやすい説明をして欲しい。	・ ごみの分別について、良くわからないので、市民が誰でも分かるように説明してほしい。

①3R 行動の促進について	
・ 衣服や本、雑貨等含めリサイクル商品の提供の機会を増やしてほしい。使えるもののなにごみで出すことになる。	・ 子ども服のおゆずりぐりぐりにいつも助けられている。環境にもお財布にも優しくて、これからも続けてほしい。
・ フードドライブの公共の場での積極的な宣伝。	・ ごみ袋の無料化をお願いしたい。
・ フードドライブの収集場所が近くにない。スーパーの回収ボックスをもっと設置してもらえたら、より協力しやすくなるのではないかな。店舗の理解を得るのもなかなか大変だが、より多くの食料が集まると思う。	・ フードドライブは とても良い取り組みと思う。普段買い物をしているスーパーで、フードドライブの受付をしていることを知らなかった。もっと宣伝したら、たくさんの人に協力してもらえると思う。
	・ ごみの分別ができていない人がまだまだ多いように思える。何か対策はないだろうか。
・ リサイクルできる物はリサイクルしていき、環境がよくなるよう公害が少しでもよくなるように取り組んでほしい。	・ ごみ減量の取り組みに子どもの服(ゆずり)の取り組みに賛同している。多くの情報にアンテナをめぐらせたい。
・ ごみ削減などの実績が成果として出ているとより精力的に参加したいと感じた。	・ 個人で取り組みやすいもの、そうでないもの、あるがごみ削減は我が家でも取り組んでいる。
	・ 家庭でのごみの分別方法について、細かい事も詳しく知りたい。
・ ごみを減らす市民の意識強化を基本として市がチラシや DM を減らす施策を検討してほしい。	・ 最近、市民が持ち寄り衣服リサイクルが不定期におこなわれているのを知り良い事だと思った。
・ 豊中のエコショップを巡ってマチカネポイントを貯めるイベントで、エコに取り組んでいるショップの存在を知ることができたので、もっと周知してショップにメリットがあるようになればエコに取り組む店舗が増えると思う。	・ 今年実施していた豊中エコショップのポイントラリーは、エコショップを利用しつつポイントを貯められたので、このような参加しやすい取り組みをやってもらえるとそこから感心を持つ人が増えるのではないかな。

②廃棄物の適正処置の推進について	
・ 小型家電のごみ分別がはじまったが、市のごみ袋が大きいものしかないので活用しづらい。リサイクルで捨てれる場所を増やしてほしい。	・ ごみの分別方法が変わり、まだ慣れていないため難しく感じる。電池の分別方法が変わったと思うので、出すのが前より手間に感じるようになった。少量でも出せるように小さなごみ袋がほしい。
・ 豊中市が頑張っても近隣市の焼却場では全て燃やしていると差が生まれるし、努力が無駄に感じてしまう。	

環境目標④ みどり率 27%で心豊かな豊中らしいまちをめざす

①みどりの保全や育成について	
・ みどり率向上への取り組みが興味深かった。	・ 緑をさらに増やしてほしい。
・ 緑が多い街になってほしい。	・ 緑を増やすことは賛成。
・ みどりが多いと思っていたが、意外と低いなと感じた。	・ 目標 4 は、上記 2 つの評価と比べ、かなり厳しく感じる。
・ 公園の緑、木々が年々伐採され植林することなく、地面も踏み固められその点について意見したこともあるがどうしようもないと改善する気がない。何が緑を増やす環境だと思う。	・ 保存樹木や保存すべき林などを増やす。(ただし腐食が進んで倒木することに注意が必要。)千里緑地の整備と自然保護の両立に取り組んでほしい。
・ みどり率について、エディブルシティ(エディブルタウン)化を推進し、食べられるまち豊中を進めてはどうか。公園や屋上、公共施設の花壇、学校菜園、ちよつ	・ 服部緑地公園があるので緑が問題になる着眼点良かった。
	・ 子どもたちが、自然を感じて育っていくことで、心豊かなおとなになると思うので、緑も豊かな環境整備を望む。

①みどりの保全や育成について	
とした空き地など、エディブル化できる場所はたくさんあると思う。	
・木の整理をお願いしたい。必要、不必要にわけ不必要は伐採していただきたい。	・植林盛んにして。枯れている木があり、根元から伐採されているものが気になる。
・「目標4」の「みどり率」は毎年測定しているわけではないため、あくまで2021年度時点での「評価D」。2023年度 of 取組みに対する結論ではないことが、ぱっと見では見落としそう。	・みどり率27%は、30%に引き上げるべきと考える。環境影響もだが、他市との差別化を成し、より魅力的な市を達成する為、豊中市はみどり重視がベストと考える。
・緑を増やすことは子どもが育ちやすくまちが豊かになるのではとよい。	・緑をもっと増やしてほしい。

②地域の身近なみどりの創出について	
・道路沿いの木の管理について、倒木などの危険性がなく安全なら、もっと増やしてほしい。	・川沿いのきれいな花を見ていると心が癒される。美しい豊中市をめざし取組みを続けてほしい。
・環境面で緑の樹木を増やしてほしい。川の清掃、川を綺麗にして、気持ちよく流れる川を見ながら、散歩したい。	・歩行者用の信号機に住宅の木がかかっている、とても見にくい場所がある。信号が安全に見えるようにしてほしい。
・豊中市は、植え込みや街路樹が少なく、歩道がとても狭い。歩行しながら森林浴ができるような、散歩道を整備してほしい。	・歩道の緑や花がいつも綺麗に手入れされていると感じた。緑化に力を入れてこれからは綺麗な豊中市であってほしい。
・植え込みや桜並木や銀杏並木等の木々の葉で道路の見通しが妨げられる箇所が散見される。ヒヤリはつとが多いので何か対策を講じてほしい。車や自転車等が植え込みや樹木の陰になって認識しづらい。	・公園の近くに住んでいるので公園内は季節ごとの緑や花が多くて、毎日散歩するのが楽しみの一つ。定期的に園内を手入れして下さっているボランティアの方々に心から感謝する。
・街路樹も他の市に比べて少なく道路周辺環境はもう少し改善してほしい。	・最近、道の花壇が草が出ないようにしている気がする。
・家庭それぞれでの緑の相談を受けてほしい。	・さらに緑化を進めてほしい。
・道路沿いに緑を増やす。	

③みどりを生かした安全で快適な暮らしの実現について	
・住宅住民の数に対して緑・公園や林が圧倒的に少ないと感じる。避難場所という意味ではそれこそ全く足りていない。ヒートアイランド現象を抑えるためにももっと緑を増やす工夫をしてほしい。	・コンポストを推進して欲しい。 * 作り方の説明 * キットの配布 など
・「目標4」で「みどり率」の向上を代表指標にしているものの、みどりの「質」なるものも向上させる話がコメント部で突然出てくる。みどりの「質」に関する定義やその観測指標はないのか。	・植物が枯れたり、伐採されるのが気がかり。家の雑草に農薬散布する人、環境についてより考えられるよう広報活動を求める。
・公園が多く、緑が多い豊中市。これを未来まで続けてほしい。	・公園等に花や木を育てる環境が増えるといい。
・みどり率に関心がある。個人的にはみどりを増やす為にはみどりを知る事だけでなく「良さを体感すること」が大切かと思う。仕事の目線ではみどりは邪魔ですし手間もお金もかかる。しかし公園に行くと癒されますし季節を感じる。	・グリーン化はぜひ進むと嬉しい。近所に小さい公園はあるが、私達の年代が憩える場所ではない。 ・みどり率が増えるといい。子どもが種まきできるなどの企画があると楽しく学べると思う。

③みどりを生かした安全で快適な暮らしの実現について

じることができる。島熊山の竹藪は夏がとても涼しい。 みどりの価値を伝えるための方法として、例えば駅から建物までの道のりや駅のホームに板を設置して、どこにいけば何を感じ取れるのか写真や実物の展示、個人個人にどんな効果があるかを伝えていくのもよいと考える。なにげない道のりや待ち時間の間で、自然に、みどりの効果と必要性を感じることで自分ごとに感じることで、潜在的に緑化運動が進んでいくのではないかな。	・公園を増やしてほしい。 ・公園整備の強化。 ・子どもが遊べるような公園が、これからも増えてほしい。 ・服部緑地があるのは素晴らしいが、それ意外の身近な公園が少なく規模が小さい。 ・「みどりの質」とは、具体的にどういうことなのか知りたい。
--	---

④生物多様性の総合的な保全と取組みについて

・生物調査の実施回数や参加者の興味が減少しているとのこと。豊中市だけでなく全国の研究機関や教育機関に対して、彼らが実施しているフィールド調査で豊中市でもできることを豊中市でもやってみることを提案してはどうか。 - また、豊中市内の教育機関に働きかけてその調査に豊中市内の児童や学生たちを参加させることを授業の一環としてはどうか。 - 子ども達には科学の面白さを感じてもらい、研究者には自分たちの研究を知ってもらいかつデータ収集もできる機会としてはどうか。 - 豊中の中学高校の理科クラブ部員や豊中の中学高校の卒業生で生物関連の調査をしている大学や研究機関に勤めている人に助けを求めてみてはどうか。	・野良猫や鳩の餌やりについて指導してほしい。 ・環境変化による動植物への影響など知りたい。 ・自然にも目線をあてて、「生物多様性」の視点で服部緑地や千里中央公園など自然豊かな点をわかりやすくPRしながら、環境保護にも取り組んでみてはいいかがか。 ・カラスが増えてきているように感じる。ごみがよく荒らされているので、何か対策が必要ではないか。 ・カラスが公園やごみをあらすのでなんとかしてほしい。 ・危険外来種の駆除等を、市として全域で呼びかけてやってほしい。
---	--

⑤環境美化活動の促進について

・敷地内への不法投棄で困っている。罰則を強化し適正な処理を促すことで、結果的にごみを減らしていければよい。	・タバコのポイ捨てを今だにする方がいるので、ペナルティや回収でポイントがつくなど何か対策してほしい。
・ゲーム制を利用した、親子で楽しめる清掃活動のイベントを企画してほしい。	・公園の掃除などの取組みをしたらいいと思う。 ・ごみ箱を増やしてほしい。
・民有地のみどり化について、空き家が管理されず、放置みどり化が進んでいる地域もあり害虫や猫の住みかとなっているところが残念だ。	・ごみ箱が撤去されているところが多くなったせいか道端ににごみが捨てられている。ごみ箱を増やしてほしい。
・公園や街並みからごみ、タバコ、空き缶のポイ捨てを徹底して管理し、季節の花や樹木が咲き誇る素敵な豊中市になってほしい。	・空き家が年々増えていき廃墟になっている所が増え、環境にも悪いので考えてほしい。
・タバコのポイ捨ては恥じるべき行為だ。何とかならないのか。	・広場、ロータリー等にごみ箱を設置、増数してほしい。

環境目標 5 環境基準の達成状況 100%で快適な都市環境をめざす

①環境汚染防止対策の充実について	
・ ダイオキシン類の環境基準達成率 100%は当然ではないか。	
②都市・生活型公害対策の推進について	
・ 二酸化炭素削減効果やヒートアイランド防止効果の高い質の良い草木を増やしてほしい。	・ 「目標5」に関して、個人ができる工夫はないのか。
・ 近年のゲリラ豪雨や今年の異常な暑さなど考えると取組みは進んでいるが異常気象のほうが速く進行しているように感じる。	・ 新たな中央図書館構想では、内部に遮音完備の録音室を設けてほしい。 音訳ボランティアをしているが、工事や飛行機・電車の音などに悩まされ続けている。是非とも録音室を設置してほしい。
・ 道路が狭く渋滞しているのは環境にも影響があると感じる。	・ 中学校の給食を他県の業者にされているが、運送やプラケースなど環境には悪い感じがする。
・ 航空機騒音のデータを見るとやや改善しているように見えるが、評価 D になるか。	・ 飛行機が飛んでいるのを見るとワクワクする。でも、騒音のことを考えたことがなく、記事を見て、気づかなかったことがわかってよかった。